

目次

□巻頭言 多柱基礎工法の開発と発展 駒田 敬一 / 1

気泡シールド工法による下水道工事 上田道夫 / 3
藤原吉也
羽生田修
山田修

洛西地区総合開発における機械化施工 真野 孝 尉 / 11

タイ国ノンタブリおよび
パツムタニ橋建設工事 篠原和吉
小植田卓
熊岡 禎二 / 17

骨材生産委員会見学記 技術部会骨材生産委員会 / 23

□随想 高さを使う心 杉山 庸夫 / 26

常磐自動車道（日立南太田～日立北）の
施工概要 真崎章一郎
槌矢 彦 / 28

グラビア——常磐自動車道（日立南太田～日立北）建設工事
第32回海外建設機械化視察団報告

JCMA 第32回海外建設機械化視察団報告 / 35

□昭和60年度官公庁・建設業界で採用した新機種
建設業界（1） 兼子 功 / 39

第36回通常総会開催 / 53

□新工法紹介
コンクリート締固め工法 / ショットレム工法 /
場所打ちライニング工法 / テレフォーム工法 /
ルーパーフォーム工法 / ロータリーショットク
リートシステム 調査部会 / 64

□新機種ニュース 調査部会 / 70

□ISO規格紹介
土工機械に関するISO標準規格（5） I S O 部会 / 74

□文献調査
地盤状態を考慮した打込み杭の許容応力 /
建設機械トピックス 文献調査委員会 / 77

□統計
建設工事受注額・建設機械受注額の推移 / 81

行事一覧 / 82

編集後記 / 86

◀表紙写真説明▶

HA 45 C国・TV・スミワイド
アスファルトフィニッシャー
住友重機械建機株式会社

本機はさまざまな施工条件や、合材の種類に
合せた施工に対応するため、締固め機構にタン
パ&パイププレート式を採用した新機種で次のよ
うな特長がある。

① 締固めはタンパ・パイププレート併用の強
力な締固めで高密度な仕上面が得られる。ま
たタンパとパイププレートのコントロールは単
独にもでき、薄層舗時の過剰締固めを防止、さ
まざまな施工条件や合材の種類に合せた施工が
できる。

② 舗装幅は2.4～4.5m 作業をしながらス
イッチ操作だけで簡単に、自在に調整できる。

③ スクリューおよびコンベヤは走行とは完
全に独立しているため、舗装仕様に合せて走行
速度とスクリュー、コンベヤ速度を別々に選
び合材量を常にベストの状態に保てる。

◀主な仕様▶

舗装幅 2.4～4.5 m (オプション 5.2 m)
舗装速度 2.3～11.5 m/min
スクリード装置 油圧式タンパ・
パイププレート
エンジン出力 57 PS/1,800 rpm
全装備重量 11,000 kg